

平成27年8月期経営状況概要

(単位：千円)

項目	予算額	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
8. 水道事業収益	2,718,378	210,308	1,003,203	36.9%	1,715,175		
1. 営業収益	2,295,737	206,465	983,419	42.8%	1,312,318		
1. 給水収益	2,260,332	205,798	980,318	43.4%	1,280,014		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	35,405	667	3,100	8.8%	32,305		
2. 営業外収益	421,760	3,843	19,785	4.7%	401,975		
3. 特別利益	881				881		
9. 水道事業費用	2,436,738	131,187	398,073	16.3%	2,038,665	708,308	29.1%
1. 営業費用	2,121,988	74,612	341,254	16.1%	1,780,734	651,188	30.7%
1. 原水及び浄水費	420,983	28,468	122,181	29.0%	298,802	228,273	54.2%
2. 配水費	284,777	13,841	67,988	23.9%	216,789	117,241	41.2%
3. 給水費	101,504	10,619	47,387	46.7%	54,117	62,648	61.7%
4. 受託工事費							
5. 業務費	162,009	13,040	54,394	33.6%	107,615	164,011	101.2%
6. 総係費	148,288	8,571	49,231	33.2%	99,057	78,941	53.2%
8. 減価償却費	974,327				974,327		
9. 資産減耗費	30,100	73	73	0.2%	30,027	73	0.2%
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	293,027	56,560	56,560	19.3%	236,467	56,560	19.3%
3. 特別損失	1,723	16	259	15.0%	1,464	561	32.6%
4. 予備費	20,000				20,000		
10. 資本的収入	3,006,208	7,301	15,082	0.5%	2,991,126		
1. 企業債	1,646,800				1,646,800		
2. 負担金・補償金	56,528	5,422	8,591	15.2%	47,937		
3. 補助金	541,847				541,847		
4. 出資金	745,967				745,967		
5. 加入金	15,066	1,879	6,491	43.1%	8,575		
9. その他資本的収入							
11. 資本的支出	4,071,062	0	193,187	4.7%	3,877,875	1,436,541	35.3%
1. 建設改良費	3,438,955	12,099	26,557	0.8%	3,412,398	1,269,911	36.9%
1. 取水施設整備費	761,076				761,076	9,990	1.3%
2. 導水施設整備費	188,460				188,460		
3. 浄水施設整備費	90,688				90,688		
4. 配給水施設整備費	2,395,707	12,099	26,557	1.1%	2,369,150	1,257,329	52.5%
5. 管理施設整備費							
6. 消防設備整備費	3,024				3,024	2,592	85.7%
2. 企業債償還金	632,107	166,630	166,630	26.4%	465,477	166,630	26.4%
12. たな卸し資産購入限度額	61,481	4,844	15,667	25.5%	45,814	52,589	85.5%
①有収水量	8,069,200	739,169	3,466,418	43.0%	4,602,782		
②供給単価	280.12	278.42	282.80	101.0%	△ 2.69		
③給水原価	258.40	177.46	114.76	44.4%	143.64		
人件費	705,323	101,604	264,196	37.5%	441,127		
1. 収益的収支	674,567	99,200	250,418	37.1%	424,149		
1. 職員給与費	200,537	15,900	82,218	41.0%	118,319		
2. 特別職(報酬、賃金等)	474,030	83,300	168,200	35.5%	305,830		
2. 資本的収支	30,756	2,404	13,778	44.8%	16,978		
* 職員給与費	231,293	18,304	95,996	41.5%	135,297		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	8.9%	94.5%	8.4%				
2. 全職員	10.2%	95.7%	9.8%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
A. 固定資産	40,591,166	40,616,770	25,604	
*減価償却累計額	17,426,310	17,426,310		
B. 流動資産	3,022,987	3,320,569	297,582	
1. 現金預金	2,712,061	2,835,423	123,362	
2. 未収金	276,762	235,021	△ 41,741	
3. 貸倒引当金	△ 500	△ 500		
4. 貯蔵品	33,973	32,139	△ 1,834	
5. 前払費用・前払金	190	198,146	197,956	工事前払金等
6. その他		19,839	19,839	仮払消費税
D. 水道事業費用		380,347	380,347	
1. 営業費用		323,547	323,547	
2. 営業外費用		56,560	56,560	
3. 特別損失		241	241	
1. 借方合計=A+B+C+D	46,840,757	47,544,290	901,489	
E. 固定負債	10,686,104	10,686,104		
1. 企業債	10,368,059	10,368,059		
2. 引当金	318,045	318,045		
F. 流動負債	1,098,533	857,040	△ 241,493	
1. 企業債	632,104	465,474	△ 166,630	H27年度償還元金
2. 未払金	394,775	247,496	△ 147,279	未払消費税含む
3. 前受金	77	90	13	
4. 引当金	69,681	55,000	△ 14,681	・賞与引当金・修繕引当金
5. 資本的収入整理勘定	1,197		△ 1,197	
6. その他	699	88,980	88,281	
うち仮受消費税		74,455	74,455	
G. 繰延収益	8,983,550	8,998,150	14,601	
1. 長期前受金	8,983,550	8,998,150	14,601	償却資産に係る財源のうち、補助金、補償金・負担金・受贈財産等
* // 収益化累計額	3,226,604	3,226,604		
H. 資本金	6,026,688	6,027,885	1,197	
1. 自己資本金	6,026,688	6,027,885	1,197	・固有、繰入(出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金→負債勘定へ
J. 剰余金	2,619,071	2,619,071		
1. 資本剰余金	22,900	22,900		・非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	2,596,172	2,596,172		
K. 水道事業収益		929,229	929,229	
1. 営業収益		910,802	910,802	
2. 営業外収益		18,426	18,426	
3. 特別利益				
2. 貸方合計=E+F+G+J+K	46,840,757	47,544,290	703,533	

a. 供給単価(円、銭)	261.86	=給水収益÷有収水量	
b. 給水原価(円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く	
①実数値	109.65	=原価算入額÷有収水量	当月予算
②シミュレーション	240.37	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの	
c. 施設利用率	78.57%	=一日平均配水量÷施設能力	
d. 有収率	84.59%	=有収水量÷配水量	
e. 流動比率	387.45%	=流動資産÷流動負債	
f. 現金預金比率	330.84%	=現金預金÷流動負債	

*供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成27年 8月期 業務実績報告書(水道管理課)

一般事項

1 料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,665	153,284	152,800	152,033	484	1,251
2 調定量	m ³	734,726	3,445,060	3,401,200	3,417,096	43,860	27,964
3 調定料金(税抜)	円	190,553,839	907,702,232	887,700,000	898,178,932	20,002,232	9,523,300
4 口振加入件数	件	25,456	127,081	-	127,038	-	43

2 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	82,496	-	83,109	△ 613
6 給水件数	件	30,528	-	30,298	230
7 開栓処理件数	件	168	1,392	1,471	△ 79
8 閉栓処理件数	件	170	1,116	1,190	△ 74
9 給水工事設計審査	件	68	302	379	△ 77
10 給水工事竣工検査	件	101	405	466	△ 61
11 経年メーター交換	件	142	814	2,122	△ 1,308
12 メーター口径変更	件	2	12	31	△ 19
13 月末停止件数	件	1	76	114	△ 38

3 料金徴収関係

項目	A 当期末未収額	B 収納率	C 前年同期未収額	D 収納率
14 当年度分	215,981,135 円	77.97 %	211,761,274 円	78.05 %
15 過年度分	5,410,038 円	97.10 %	5,307,201 円	97.23 %
16 全体(計)	221,391,173 円	-	217,068,475 円	-

4 給水装置工事指定業者

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
19	6	16	12	13	9	8	14	5	102	114	216

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計(落札件数/入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
入札件数	54/55	7/8	23/24	4/5	11/11	1/1	10/10	2/2	10/10	0/0	0/0	0/0
契約締結	一般	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	指名	37	1	16	1	9	0	3	0	9	0	0
	随契	13	3	3	0	2	1	7	2	1	0	0
合計	51	4	20	1	11	1	10	2	10	0	0	0

※入札中止 当月 0件:累計0件/入札不調 当月 1件:累計1件/入札取消 当月 0件:累計0件/未契約 0件

6 竣工等検査

検査種類	累計	当月件数	内容
竣工検査	6	6	工事6件
中間検査	3	0	
合計	9	6	

7 主な行事・会議

会議名	日時	内容
部長等連絡調整会議	3日	8月期 事業打合せ等
事業調整会議	4日	第6回 部長等連絡調整会議復命、日程調整
経営分析会議	24日	7月期 経営概況、残高試算表、月報、監査復命
水道事業連絡会議	12日	第5回 業務報告、日程確認、業務打合せ等
料金徴収等管理業務委託会議	10日	第5回 業務報告、日程確認、業務打合せ等
安全衛生委員会	11日	第5回 行事計画、日程調整等
水道ブースター会議	25日	第5回 新田配水地築造工事現場視察
給水拠点設置訓練	20日	第5回 追総合支所
例月出納検査	25日	7月期 月例監査
指名委員会	6・17・26・31日	第11回・第12回・第13回・第14回
入札	4・6・26日	1件・3件・3件
緊急メールの発出	-日	漏水6・浄水場関係1

特記事項

1 8月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

ア 収益的収支

当期の給水収益は 205,798 千円(税込)で、7月期に比べて 17,459 千円の増で、予算執行率(累計)は 43.4%(前年度 42.3%)、対前年同月比(税抜)では 4,152 千円の増となっています。当期の営業費用は 74,612 千円の執行で、累計額は 341,254 千円、予算執行率(累計)は 16.1%(前年度 14.4%)となっております。営業外費用では、企業債利息 56,560 千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、工事負担金 200 千円、補償金 5,222 千円、水道加入金が 1,879 千円、累計で 7,301 千円、予算執行率(累計)では 0.5%(前年度 0.8%)となっております。支出は、配水管布設事業 3,888 千円、調査設計費 5,800 千円、事務費に 2,411 千円、企業債償還金(元金) 166,630 千円を執行し、予算執行率(累計) 4.7%(前年度 6.7%)となっております。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品に 4,844 千円を執行しました。

2 今月の出来事

(1) 上水道事業運営審議会を開催

平成 27 年度第 1 回登米市上水道事業運営審議会を 8 月 11 日(火)に登米庁舎会議室で開催しました。昨年度末で委員の任期が満了したため、今年度、新しい各委員に布施市長から委嘱状の交付を行いました。各委員については、公募で 3 名、市内の各種団体推薦で 4 名、大口需要家から 1 名、学識経験者 2 名の計 10 名で、平成 28 年度までの 2 年間にわたり、水道事業における諸課題について審議をしていただきます。

会長には東北工業大学工学部教授の山田一裕氏が、会長職務代理者には柳宮城県食肉流通公社施設担当次長の渋谷昭夫氏が選任されました。その後、布施市長から山田会長に諮問書が手渡され、その内容は「水道ビジョンについて」、「主要事業及び予算について」、「水道事業の課題について」の 3 項目で、今後これらについての答申をいただきます。

また、報告として事務局から「登米市地域水道ビジョンについて」、「平成 27 年度登米市水道事業会計予算について」と「平成 26 年度登米市水道事業会計決算について」の説明を行い、各委員から質疑を受けました。

(2) 登米市水道事業施設更新計画策定委員会はじまる

水道事業所では今年度、近年の人口減少等を背景とした水需要の低迷による給水収益の減少や老朽施設の更新など水道事業を取り巻く社会情勢の変化や、東日本大震災を経験して、抜本的な危機管理対策を講じなければならないことから、未来に向けた登米市地域水道ビジョンを平成 26 年 10 月に改訂しました。今後の水道施設は、ダウンサイジングの中で効率的な再構築・再配置が必要となるため、現状の把握と水道施設更新に係る必要事項を検討することを目的として、「登米市水道事業施設更新計画策定委員会」を設置し、8 月 31 日及び 9 月 1 日の日程で平成 27 年度第 1 回の会議を迫庁舎で開催しました。

初日は、布施市長出席のもと各委員に委嘱状の交付を行いました。各委員については、一般の需要家 2 名、大口需要家から 2 名、水道関係団体から 2 名、公営企業会計に識見のある公認会計士 1 名、国立の研究機関から 1 名の計 8 名で平成 29 年度末まで登米市の施設更新にかかる検討をしていただきます。

また、会長には国立保健医療科学院の伊藤雅喜氏が、副委員長には柳登米村田製作所の菅野忠氏氏が選任されました。その後、布施市長から伊藤委員長に「アセットマネジメントによる現状把握と既存施設の更新計画に関する事」、「ダウンサイジングにより施設の再構築・再配置計画に関する事」、「水道施設耐震化計画に関する事」、「配水ブロック化計画に関する事」、「施設更新計画に係る財政計画に関する事」の 5 項目の諮問書が手渡されました。報告として事務局から委員会の今後のスケジュールと登米市水道事業の概要及び地域水道ビジョンについて説明を行いました。

なお、2 日目については、保呂羽浄水場と石越浄水場施設の視察を行いました。

(3) 資金管理運用委員会で運用決定

8 月 24 日(月)に第 2 回資金管理運用委員会において資金の運用について協議し、5 億円を定期預金に預け入れることに決定した。



市長から諮問書を手渡す



市長あいさつ

平成27年 8月期 業務実績報告書 (水道施設課)

一 般 事 項

経営分析の状況

◎配水量の状況

(単位: m³)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	883,829	4,318,162	4,200,820	4,443,299	117,342	-125,137
総配水量	833,242	4,097,977	4,072,370	4,233,294	25,607	-135,317
1 有効水量	790,132	3,712,025	3,678,750	3,751,464	33,275	-39,439
(1)有収水量	739,169	3,466,418	3,422,200	3,440,022	44,218	26,396
(2)無収水量	50,963	245,607	256,550	311,442	-10,943	-65,835
2 無効水量	43,110	385,952	393,620	481,830	-7,668	-95,878
(1)漏水量	42,722	383,613	390,000	478,240	-6,387	-94,627
(2)その他無効水量	388	2,339	3,620	3,590	-1,281	-1,251
3 有収率	88.71	84.59	84.03	81.26	0.57	3.33

※当月期の最大配水量は、6日(木)【30,150 m³】です。

◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	3	761,076	2	9,990	0	0	751,086	1.3%
イ 導水施設整備事業	1	188,460	0	0	0	0	188,460	0%
ウ 浄水施設整備事業	14	90,680	0	0	0	0	90,680	0%
エ 配給水施設整備事業	94	2,395,707	30	1,230,772	5	26,557	1,138,378	52.5%

*注1 件数及び金額は工事+委託(事務費・人件費)の合計です。

◎毎日検査 ※おいしい水の条件 遊離残留塩素 0.4 mg/L 以下

	保呂羽浄水場	保呂羽浄水場水系	東和町水系	石越町水系	大萱沢浄水場水系
	F1遊離残留塩素	(測定戸数: 7)	(測定戸数: 6)	(測定戸数: 2)	(測定戸数: 1)
平均	0.84	0.38	0.35	0.54	0.41
最低	0.80	0.15	0.10	0.34	0.24
最高	0.88	0.61	0.60	0.70	0.50

◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H27.8.18	<0.4	<0.5	米谷水系浄水場	H27.8.18	<0.5	<0.6
石越浄水場	H27.8.18	<0.5	<0.5	楼台水系浄水場	H27.8.18	<0.5	<0.5
大萱沢浄水場	H27.8.18	<0.5	<0.5	合ノ木浄水場	H27.8.18	<0.5	<0.6
米川水系浄水場	H27.8.18	<0.5	<0.5	大綱木浄水場	H27.8.18	<0.5	<0.5
錦織水系浄水場	H27.8.18	<0.3	<0.5	—	—	—	—

特 記 事 項

1 濁水対策とカビ臭対策

8月は前年同期に比較して降水量、降水日数は減少し、平均気温は増加しました。石越浄水場では迫川の水位低下の影響や高温による水処理貯蔵薬品の劣化など影響を受けました。また、昨年9月に北上川でカビ臭問題が発生していますが、本年は東北地方整備局北上川ダム統合管理事務所が水温上昇の続く田瀬ダムの水質情報等を北上川流域関係団体と情報の共有化を行っています。尚、他の水源では濁水は発生しませんでした。

(1) 石越浄水場取水停止期間中 高温のため次亜塩素酸ナトリウムが劣化

先月31日(金)より、石越浄水場で貯蔵していた消毒剤に品質劣化が見受けられたため、浄水場を停止し、保呂羽水系へ切り替えました。今回の停止は以前に濁水のため石越浄水場を停止している間に塩素酸の上昇が原因で、貯蔵していた殺菌剤の次亜塩素酸ナトリウムが折からの高温のため、成分変化したためと判明しました。水処理薬品の劣化は初めてで、11日(火)に浄水場各池水入れ替えと薬品を入れ替え、基準値を下回ったことを確認し、石越浄水場の運転を再開しました。対策として薬品の大量購入をしないで在庫管理の徹底を行っています。

(2) 第4回田瀬ダム水質検討会が開催される

11日(火)、盛岡市を会場に、東北地方整備局北上川ダム統合管理事務所主催の第4回田瀬ダム水質検討会へ北上川流域関係団体として菊池課長が出席しました。

田瀬ダムの水質及びアオコ等の現状が報告され、6月から曝気装置稼働し一定の効果がでているデータが示されましたが、今後も継続して監視していくとのことでした。

また、田瀬ダムでは淡水赤潮の発生も見られましたが、カビ臭を発生する種類の藻類ではないことが確認されております。検討会では流域関係団体間での情報を共有化し更なる連携を図り対応していくことを再確認し、次回の検討会は年度末に開催することで閉会しました。

2 新田配水池築造工事「エアードーム工法」の見学会を開催

25日(火)、迫町の新田配水池築造工事現場で、「エアードーム工法」の見学会を開催しました。

エアードーム工法は、わずか1.15mm程度の厚さの塩化ビニールの膜を掛け内部のエアを加圧することにより、コンクリートを打設するための型枠としての強度を持たせ、この膜の上に一旦モルタルで薄い層を形成し、さらに重ねてコンクリートを打設します。この工法のメリットとしては、塩ビ膜を使用することにより、塩素ガスからコンクリートを守るという効果が期待できます。さらに、通常の工事に比較して型枠と足場の削減がなされ、労働力と経費の節減、工期の短縮、安全性の向上が図れます。

午前10時には水道ブースターの皆さんへ、午後1時からは水道事業所職員に、最後に午後2時からは登米市監査委員が見学しました。一度に見学出来る人数に制限があり、危険防止のため10人ずつの見学で行われました。

3 平成27年8月の漏水調査結果について

8月末の漏水調査の結果 78件68.539 m³/h(累計)の漏水を発見しています。

4 地震発生状況

登米市内における震度4以上の地震は発生していません。



検討会議



施設見学会



施設	件数	漏水量(m ³ /h)
配水管	21	41.37
付属施設	7	1.19
給水管	50	25.979
計	78	68.539

漏水調査結果